

I 事業概要

総 括

公益法人としてより一層の組織体制全般及び事務、事業の推進を図り、加盟団体との連携体制の適正化や事務事業の効率化、競技力向上やタレント発掘事業、スポーツ医・科学事業や総合型地域スポーツクラブ等、各事業の推進において一定の成果を上げることができた。

- (1) 会議、委員会、研修会
 - ・定例理事会を3回した。
 - ・定時評議員会を6月に1回、臨時評議員会を3月に1回開催した。
 - ・評議員選定委員会を1回開催した。
 - ・専門委員会として、総務委員会、財務委員会を3回開催し、企画委員会、強化・育成委員会を3回、普及委員会・表彰委員会を3回開催し、倫理・コンプライアンス委員会を2回開催した。
 - ・4月に加盟団体事務事業説明会を開催した。
- (2) 自主財源確保事業
 - ・賛助会員募集 法人・企業・団体会員：142件
個人会員：51件
 - ・協賛広告募集 20件
 - ・オリジナルシャツ販売 1,538着
 - ・Sports for all 推進費付き自動販売機 5台

1 競技力向上事業

継続、安定した競技力を目指し、関係機関団体と連携して、事業等の検証、競技団体の組織運営の向上、指導者の育成、県民の理解、支援拡大に取り組んだ結果、各事業で下記のとおり成果を上げることができた。

- (1) 選手強化事業
 - ・競技団体41団体、個人8名に事業費の一部を補助した。
- (2) ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト事業
 - ・世界や全国の舞台で活躍できるトップアスリートの育成を目指して、小6から中3までの107名のアスリート生を対象に、月2回の育成プログラムや専門化を図るためのパスウェイプログラムを実施した。
 - ・ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト事業修了者に4名に対して活動費の一部を補助した。
- (3) 加盟団体組織整備事業
 - ・競技団体41団体に強化対策活動費の一部を補助した結果、競技力向上に向けた組織整備が図られた。
- (4) 強化推進事業
 - ・本会と競技団体との協議：12月から1月にかけて、41競技団体にヒアリングを実施した。
 - ・チームみやぎミーティング
第1回：5月17日、41競技団体の各種別監督等を対象に、ひなた武道館主道場において「令和6年度国民スポーツ大会に向けた強化策」等について各競技団体がグループワークを行い意見交換した。
第2回：11月21日、41競技団体の理事長や強化委員長等を対象に、ひなた武道館主道場等において、今年度の反省を元にした2027年宮崎国スポに向けた強化策や、次年度のブロック大会・滋賀国スポに向けた具体的強化策について協議した。
 - ・国民スポーツ大会強化指定証交付：41競技団体1,787名に交付した。
 - ・視察、激励、支援要請のため、競技団体、企業、学校等を訪問した。
- (5) 国スポ選手強化事業
 - ・大学・社会人スポーツ支援事業：11団体、個人50名を指定して活動費の一部を補助

- した。
- ・トップチーム活用事業：9団体を指定して活動費の一部を補助した。
- (6) **国スポ選手等サポート推進事業**
 - ・コンディショニングサポート事業
27競技37種別にトレーナーを派遣した。
 - ・メンタルコーチ等活用事業：11団体を指定して活動費の一部を補助した。
- (7) **女性アスリート強化戦略プロジェクト事業**
 - ・ネクストアスリート強化指定選手支援事業
国民スポーツ大会で入賞の期待がかかる女性アスリート22名に活動費の一部を補助した。
 - ・スポーツ環境支援事業
保育を必要とする5名の女性アスリートに対して活動費の一部を補助した。
- (8) **チームみやぎ強化アドバイザー招へい事業**
 - ・33競技49種目を指定して活動費の一部を補助した結果、高い指導力や豊富な指導経験を有する全国トップレベルの指導者を「チームみやぎ強化アドバイザー」として招聘し、各競技団体の競技力強化を図ることができた。
- (9) **ターゲットエイジ強化プロジェクト事業**
 - ・36競技団体に対して活動費の一部を補助した。
- (10) **ふるさと選手活動支援事業**
 - ・19競技団体に対して活動費の一部を補助した。
- (11) **競技力向上推進員確保事業**
 - ・2027年国民スポーツ大会天皇杯獲得に向け、競技力の高い9競技15名の選手を確保した。
- (12) **その他**
 - ・海外派遣選手等支援として個人6競技・17名を支援し、次年度の国民スポーツに向けたリハーサル大会出場のために3団体に活動費の一部を補助した。

2 国民スポーツ大会派遣事業

帯同コーチ、ドクター、トレーナーの確保を図り、その派遣等を通して試合環境の整備を推進することができた。

- (1) **国民スポーツ大会九州ブロック大会派遣**
 - ・前期競技：5月から7月にかけて、本県内及び鹿児島県で開催の12競技に選手、役員等252名を派遣した結果、8競技で25の代表権を獲得した。
 - ・後期競技：8月に本県で開催の20競技に選手、役員等673名を派遣した結果、21競技で43の代表権を獲得した。
 - ・冬季大会：12月に福岡県で開催の1競技に選手、役員等57名を派遣した。
- (2) **国民スポーツ大会派遣**
 - ・本大会：9月から10月に佐賀県を中心に開催された大会に、31の競技で選手、役員等514名を派遣した結果、9競技13種別・種目の団体、9競技47種目の個人が入賞し天皇杯順位32位という成績であった。
 - ・冬季大会：1月に群馬県、2月に秋田県開催の2競技に選手、役員等44名を派遣した。
- (3) **コーチ派遣**
 - ・国民スポーツ大会九州ブロック大会に88名を派遣した他、国民スポーツ大会に65名を派遣した。また、冬季大会にも3名を派遣した。
- (4) **ドクター、トレーナー派遣**
 - ・国民スポーツ大会九州ブロック大会は本県開催であったため、本協会からは派遣せず、各競技団体所属のトレーナーが大会に帯同した。国民スポーツ大会にはドクター4名、トレーナーを7名派遣した他、冬季大会にはトレーナー2名を派遣して、選手のスポーツ障害等への対応に務めた。

3 みやざき県民総合スポーツ祭事業

総合開会式は6月1日ひなた武道館主道場で開催し、大会は7市8町61会場で5月から9月の間、56競技に10,801名が参加して盛大に開催された。

4 スポーツ指導者養成事業

公認スポーツ指導者の活用、活躍に向けて、公認スポーツ者資格の啓発、指導者の資質向上に取り組み地域のスポーツ指導者の取組を支援することができた。

(1) 宮崎県スポーツ指導者協議会

- ・理事会を6月と1月の2回開催し、年間の予算や計画、公認スポーツ指導者表彰等について審議した。

(2) 公認スポーツ指導者表彰

- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰を3名が受賞した。

(3) スポーツ指導者研修会・総会

- ・2月1日にJ A・A Z Mホールで開催し、241名が参加した。
講義：「選手とチームの力を最大化する スポーツコミュニケーションⅠ・Ⅱ」
講師 江口真弓 氏（Stage Up Support 代表）

(4) 全国スポーツ指導者全国研修会及び連絡会議

- ・研修会は11月23日に開催されたが、受講者はいなかった。連絡会議には2名参加した。

(5) スポーツ指導者協議会機関誌「躍動みやざき」

- ・第13号を12月に県内公認指導者対象に発行した。

5 地域スポーツ振興事業

競技の普及、競技力の向上、スポーツに対する県民の意識向上のため、加盟団体、報道機関、行政等と連携して、関係事業を推進することができた。

(1) 生涯スポーツ普及活動支援事業

- ・総合型地域スポーツクラブ6クラブ、生涯スポーツ加盟団体3団体が事業を実施した。

(2) 加盟団体組織整備補助

- ・国スポ競技団体以外の14競技団体と3学校体育団体15市郡体育・スポーツ協会に補助金を交付した。

(3) 第14回宮崎チャレンジマッチ

- ・6月16日県立宮崎工業高等学校水球プールにおいて水球競技を開催し、沖縄県選抜チーム15名と島根県選抜チーム13名の選手が本県選抜と対戦し、本県選抜は準優勝であった。

(4) 名義後援、共催

- ・加盟団体等の事業、大会後援：78件、大会の共催：2件

6 スポーツ医・科学事業

本県のスポーツ振興と競技力向上及び選手の健康管理を図るため、医・科学的な研究をとおして関係事業を推進することができた。

(1) スポーツ医・科学委員会

- ・3回の会議を開催し、本年度の事業計画等について協議することができた。

(2) ドーピング防止研修会

- ・9月と1月の国スポ結団壮行式で監督、選手等を対象にして2回実施した。

(3) 大会派遣に係る健康相談

- ・国スポに合わせ、県の電算システムを用い問診票をもとに実施した。

(4) メディカルチェック

- ・11月23日、次年度の国スポ候補選手（陸上、フェンシング、水球、ウエイトリフテ

- ・イング、ホッケー、バドミントン、パラスポーツ) の6競技82名を対象に実施した。
- ・報告会を、2月上旬から競技団体ごとに実施した。
- (5) **アスレティックトレーナー(AT)養成講習会**
 - ・17名の受講で6月から5回実施し、2027宮崎国スポ・障スポに向けて養成を行った。
- (6) **日本スポーツ協会講習会派遣**
 - ・日本スポーツ協会公認ドクター養成講習会に2名を推薦し、2名とも公認資格を取得した。

7 スポーツ顕彰事業

昨年度に見直した表彰規定をもとに、表彰の推薦及び表彰事務を適正、円滑に行った。

- (1) **スポーツ功労賞、優秀賞、奨励賞、推進賞(一般対象)**
 - ・2団体と個人40名を表彰した。
- (2) **スポーツ優秀賞、奨励賞(小中高生対象)**
 - ・14団体、個人40名の選手、44名の指導者を表彰した。
- (3) **日本スポーツ少年団顕彰**
 - ・個人3名を表彰した。

8 スポーツ少年団事業

団員減少、指導者の資質向上、学校及び地域のスポーツ団体との連携など課題解決に組織全体で取り組んだ。今年度の登録団数は661団、登録団員は12,113名(前年度678団、12,189名)、登録指導者は1,291名(前年度1,559名)で団員・指導者とも減少した。

- (1) **宮崎県中央大会**：16競技すべて実施し、2,818名の団員が参加した。
- (2) **九州ブロック競技別交流大会**
 - ・5競技全て実施した。本県では、8月2日(金)から4日(日)に都城市早水体育文化センターにてミニバスケットボール交流大会を開催した。
- (3) **県スポーツ少年団顕彰**
 - ・1団体、個人3名を表彰した。
- (4) **スタートコーチ養成講習会**
 - ・10月と12月に対面形式で2回開催し、201名が終了した。
- (5) **リーダー育成事業**
 - ・今年度は台風接近のためジュニア・リーダースクールを中止した。
- (6) **リーダー会活動**
 - ・6月に青島青少年自然の家で1回目を開催し、リーダー7名、指導者3名が参加した。また、11月に武道館等で2回目を開催し、リーダー8名、指導者2名が参加した。
- (7) **全国スポーツ少年大会**
 - ・7月に秋田県で開催され、指導者1名、団員3名が参加した。
- (8) **九州ブロックスポーツ少年大会**
 - ・8月に鹿児島県で開催され、指導者1名、団員8名が参加した。
- (9) **母集団育成研修会、ブロック別研修会、リーダー研修会**
 - ・母集団育成事業を7市町で実施し、ブロック別研修会を4ブロックで開催した。
 - ・初級ジュニア・リーダー研修会は2市町で実施した。

9 総合型地域スポーツクラブ事業

- (1) **総合型地域スポーツクラブ連絡協議会**
 - ・県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会役員会・理事会・総会を2回開催し、各部会を3回開催し、JSP O登録クラブ間の連携及びクラブの活性化を図った。
- (2) **市町村及びクラブ実地調査、ヒアリング**

- ・ J S P O登録の 2 2 クラブを訪問しヒアリングを実施した他、新規の登録予定クラブに対する実地調査や、新規立ち上げを進めている団体の準備委員会に参加して指導助言を行った。また、新規登録の審査会及び登録更新のための審査会を 1 回ずつ実施した。
- (3) 資格取得支援
 - ・ アシスタントマネジャー資格取得のために、 6 クラブ 6 名に資格取得費の一部を補助した。

10 広報及び記録収集、活用事業

本会、加盟団体及び本県スポーツに対する認識向上のために、SNS の活用などあらゆる機会を利用して情報を発信することができた。

(1) 広報

- ・ 広報機関誌「宮崎スポ協第 2 2 4 号」を 3 月末に県内関係機関に 1, 8 0 0 部発行した。
- ・ H P 運用に関して、月平均 1 0, 1 0 5 件のアクセス数があり、関心が高まっていた。
- ・ 国民スポーツ大会や本会に関わる会議、事業等の様子を即時に情報発信できるようインスタグラムの活用に努めるとともに、H P 上に国民スポーツ大会等の申込専用ページをリンクさせ、利便性の向上に努めた。
- ・ 頑張れチームみやざき！広報サポート事業として、2 0 2 7 年国民スポーツ大会に向けたジュニア選手強化に関する取組を新聞に掲載し機運醸成に努めた。

(2) 記録収集、活用

- ・ 本会、加盟団体の事業、活動記録及び本県スポーツ情報を収集・管理し、H P 等を通して県民に提供した。

11 スポーツ交流事業

(1) 日本スポーツ協会の交流事業（受入）

日独スポーツ少年団同時交流受入事業を、8 月に五ヶ瀬町・高千穂町・日之影町で実施し、本県団員との交流を深めた。

12 国民スポーツ大会九州ブロック大会開催整備事業

(1) 会議

- ・ 4 月 2 3 日に実行委員会総会を開催した他、常任委員会を 2 回、事務局会議を 1 回、2 月 2 6 日に解散総会を開催した。
- ・ 競技団体担当者会を 5 回、競技団体と会場地との合同会を 1 回開催した。

(2) 運営

- ・ 前期競技を 5 月 1 9 日から 7 月 2 8 日まで 1 1 競技で、後期競技を 8 月 1 7 日から 9 月 1 日まで 2 0 競技で、冬季大会を 1 2 月 7 日から 1 2 月 8 日まで 1 競技で開催した。
- ・ 雷や台風の影響により競技日程等の変更を余儀なくされたが、各競技で安全に大会を運営することができた。
- ・ 九州各県の監督選手役員 5, 2 7 2 人が大会に参加し、運営関係者の協力を得て大会が終了した。